
俺の周りは普通じゃない

黒猫と銃声

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の周りは普通じゃない

【Nコード】

N0663Z

【作者名】

黒猫と銃声

【あらすじ】

俺・・・山陵さんりやう 蒼鬼そうきの周りは、普通じゃない。

幼なじみ、先輩、後輩、姉、兄、妹、先生、クラスメート・・・

全てが普通じゃないんだ。

これは、俺の日常をちょっとだけ切り取って、ほんの少し着色した物語である。

プロローグ（前書き）

どうも、黒猫と銃声です。

小説家になろうでは初作品になりますな。

よろしくです（ペコ

「お前は生きてちゃいけないんだよ……」

声は消えない・
・
・

うわあああああああ あああ あああ ああああ
蛙唾蛙！！！！！！！！！！

俺一人の声が、何もない空間に飲み込まれる……

「ごめんなさい・・・」

俺はみつともなく許しを請う。

でも、それを聞き入れる相手はいない。

俺の中の声は、
どんだん激しく俺を罵る。

「じめんなさい……じめんなさい……」

俺の目から、一粒のしずくが、暗闇に落ち、はじけた。

瞬間、俺の中の声がぴたりと止み、目の前に光が差し込む。

「君は、生きていいんだよ……」

光の中から手がさしのべられる。

俺は涙をぬぐい、その手を取る。

その瞬間、世界が白に包まれた・・・

いつもの朝（前書き）

「小説家になろう」で投稿すると小説家になった気分になるから不思議↑

いつもの朝

「・・・ん」

俺・・・山陵さんりやう 蒼鬼そうきは、圧倒的な寝苦しさに眠りを妨げられた。
寝汗によつて、背中に張り付くパジャマがうっとうしい。

「ちっ・・・」

俺は少しだけ舌打ちをし、シャワーを浴びようとベッドから飛び降りた・・・

が。

『むぎゅ』

「いたっ！！！」

俺の足下の床が悲鳴を上げた。

いや、床というにはあまりに柔らかい。

そして、なぜか暖かい。

「・・・」

俺はおそろおそろ下を見る・・・こともせず、全力で踏みつけながら風呂場へと歩いていった。

うん、気のせい気のせい。

「いったああああい！！！！」
「っていう女の声が聞こえたのも気のせい気のせい。」

0 - - - - -

- - 0

「ふう、さっぱり・・・」

『がちゃ』

シャワーを浴びた俺は自分の部屋の扉を開き・・・

「失礼しました」

『がちゃ』

閉じた。

俺は何もみていない・・・俺の枕のにおいを全力で嗅ぐ幼女なんて
みていない・・・

俺は自分の今持てるすべての力を使い、自己暗示をかける。

そして再び、その扉を

『がちゃ』

あけた。

「すううつつう・・・はああああ・・・蒼にーちゃんのおい・
・・・」

俺の目に飛び込んできたのは、俺の枕に顔を押し当てて深呼吸をす
る一人の幼女・・・

思わず卒倒しそうになったが、先ほどの自己暗示のおかげで多少は
意識を保つことができる。

「何をしてんだ・・・岳^{がく}」

こいつの名前は山陵 岳。

肩あたりまで伸びた茶髪。

くりつとした髪と同じ色の瞳。

150cmほどの身長。

360。どこから見ても幼女・・・だが。

こいつは俺の弟・・・つまり男である。

「ふえ！！？そそそそ蒼にーちゃん！」

かなり驚いたように振り向く岳。

「ああ。おまえの兄貴の蒼にーちゃんだ。で、何やってたんだ？」

「・・・」

気まずそうに目線をそらす岳。

「・・・」

「・・・」

沈黙が続く・・・

ふと目線を岳からそらす。

その先には目覚まし時計・・・

指している時刻は8：00

ここから俺が通う学校まではどれだけ急いでも約15分ほどかかる。
学校の登校時間は8：20分まで。

俺は先ほど起きたばかりで、学校の準備はしていない・・・

そこから導き出される答えは・・・

「・・・遅刻だ・・・」

俺の口から、遅刻の二文字がこぼれた。
ぜっぽう

「蒼にーちゃん、行かなくていいの？」

岳が憎たらしい笑顔で言ってくるが、そんなことを気にしている時間はない。

「帰ったら聞くからな!!」

俺は「あれ？俺ってこんなに早く動けたっけ？」という位のスピードで着替えをすまし、学校の準備をして、家を飛び出した・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0663z/>

俺の周りは普通じゃない

2011年12月5日11時49分発行